

浜竹地区のまちづくり、 防災と組長さんへのお願い



参考資料

- 「生きのびよう」第4版
配布資料 A4折りたたみ
- **組長さんの役割**

• 2024年06月02日

みんなで生きのびよう(第4.0版)

みんなで生きのびよう(第4.0版)

グラっときたら 生きのび方(突発型)

① 地震警報

→グラっときたら

- ①頭と首筋を守る
テーブルの下などにもぐる
- ②揺れがおさまるまで待つ
- ③スリッパや靴をはく
- ④すばやく火の始末
- ⑤戸を開けて出口の確保
- ⑥火が出たらすぐ消火



津波警報が無ければ



② 大津波警報

→ただちに避難!

- ①ただちに徒歩で避難
- ②辻駅、テラスモール方面へ途中に入れる高いビルへ避難
- ③ブロック塀の倒壊、瓦、ガラスの落下、車に注意



③ 大規模火災

→慎重に避難!

- ①火の始末
- ②ブレーカーを落とす
- ③戸締りをして、徒歩で
- ④ご近所、要支援者も一緒に
- ⑤津波、風向きを考え、左図神台(かんだい)公園または他の広域避難場所へ
- ⑥ブロック塀の倒壊、瓦、ガラスの落下、車に注意
- ⑦風向き考え、安全に避難

起こり(来)そう(タイムライン型)
感染症・台風・火山噴火
長く続く

余震・津波・火災の3つの安全確認後

自宅が安全!



自宅避難

原則

自宅が危険?



松浪中学校 避難所

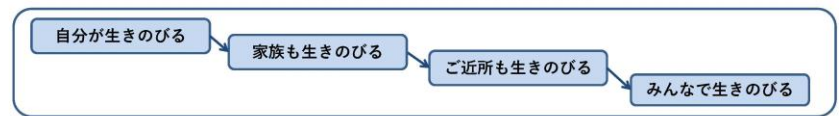


自宅避難

(外出も含む)家族の安否・安全確認、ご近所の救出・救助・救護、消火活動、情報収集

兵金山会館(または代替場所)に浜四災害対策本部を設置し、活動します

生きのび方の基本の考え方

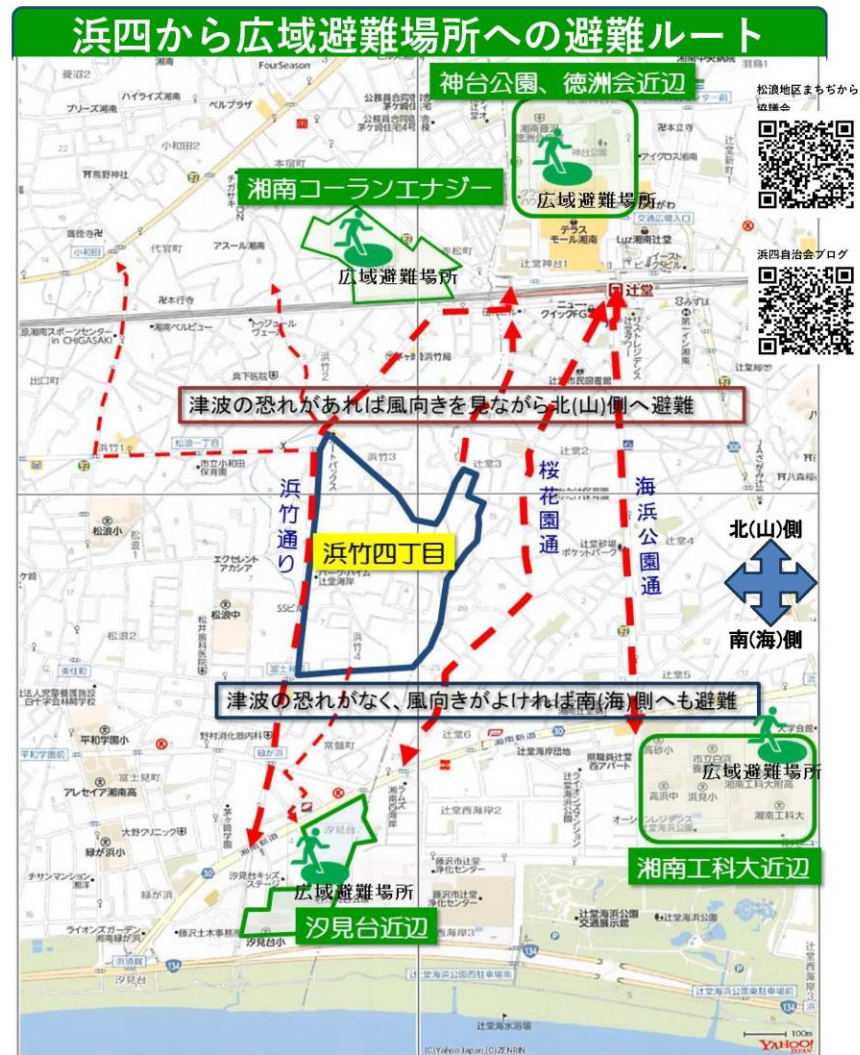
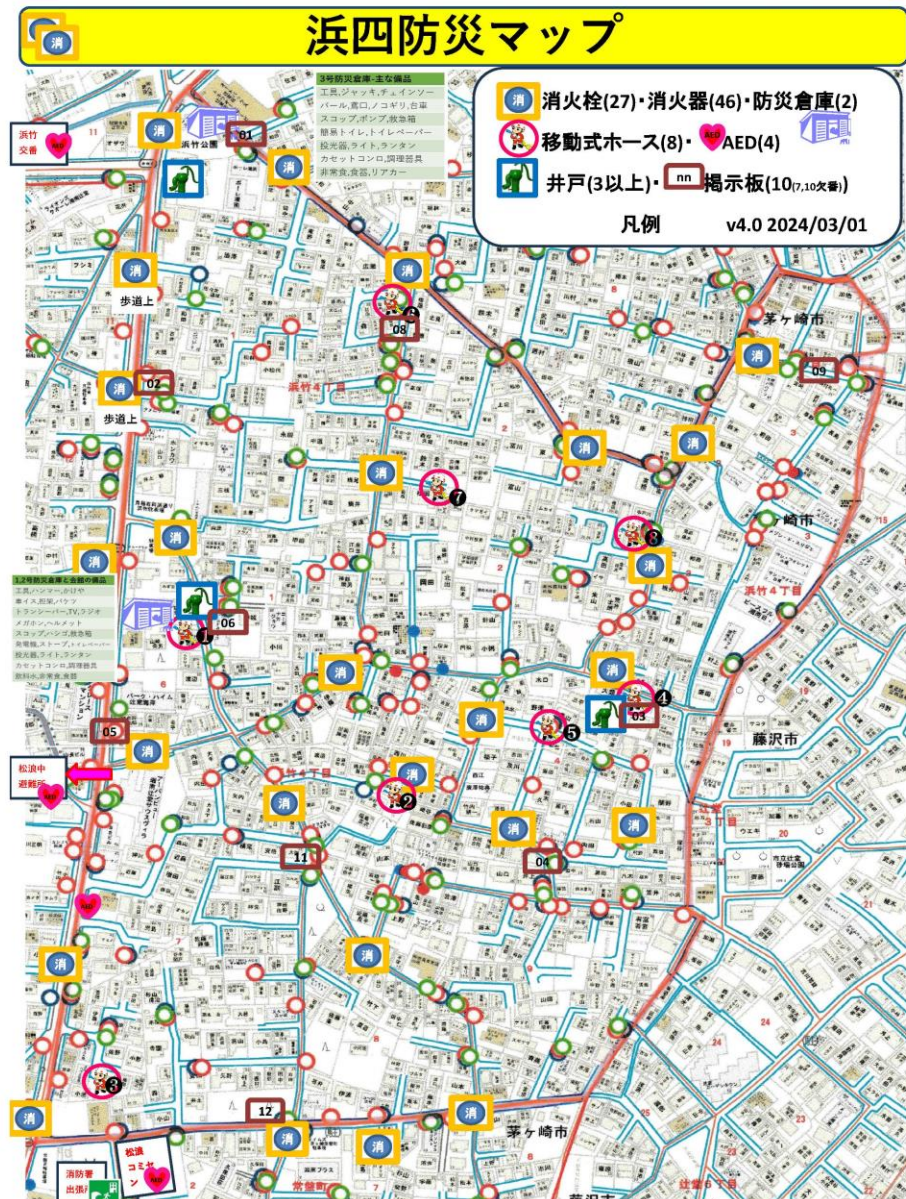


日頃のそなえ わが家の防災

<h4>1.身を守る-日頃-個人</h4> <p>個人の防災(特に寝室で):</p> <ul style="list-style-type: none"> □倒れる物の前に寝ない □物が落ちてこない所に寝る □寝室に(避難用)靴を置く □緊急用呼び笛(ホイッスル) □懐中電灯(常夜灯、スマホ) □ヘルメットまたは防災ズキン □軍手または手袋の用意 	<h4>2.身を守る-日頃-自宅</h4> <p>自宅の耐震対策:</p> <p>1981(昭和56)年以前築は危険</p> <ul style="list-style-type: none"> □耐震診断/補強工事 □棚、家具の固定 □テレビ、冷蔵庫などの固定 □ガラスの飛散対策など □地震保険も検討(お勤め) <p>自宅の防火対策:</p> <ul style="list-style-type: none"> □火災、煙警報器(義務付け) □消火器(設置で安心) □感震ブレーカー(お勤め) 	<h4>3.非常時出し(リュック詰め)</h4> <ul style="list-style-type: none"> ◆: その時入れる、口: 常時入れておく ◆貴重品-現金、カード、印鑑 ◆パスポート、健康保険証 ◆スマホ/携帯、充電用具 □最低限の水、食料、常用薬、生理用品 □懐中電灯、携帯ラジオ、電池 □ポリ袋、ラップ、ライター、マッチ □予備メガネ、コンタクトレンズ □手袋、ヘルメット、防災ズキン等着用 ◇子供用: おもちゃ、本、菓子、迷子札も
<h4>4.家庭備蓄(日常用,非常時)</h4> <ul style="list-style-type: none"> □スマホ/携帯充電器と電池、車用も □水(7日x2~3リットルx人数) □食料(7日x3食x人数) □簡易トイレ用品(7日分x人数) □風呂の水は抜かず貯めて □いつも飲む薬を2週間分余分に □20~50リットル・ポリ袋50枚 □カセットコンロ、ボンベ、マッチ、ライター □トイレットペーパー、ウェットティッシュ □ガムテープ、ラップ、レジ袋 □マスク(50枚)、消毒薬、体温計 □石けん、ハンドソープ、ドライシャワー □災害用トイレ、収納袋(80枚)、凝固剤 □食品、水、薬、備品は日常で使い、新しいもので入れ替える(ローリングストック) 	<h4>5.情報収集と連絡</h4> <p>災害用伝言ダイヤル(171)</p> <p>録音: 171⇒1⇒電話番号(市外局番から) ⇒1⇒メッセージ入力⇒9 再生: 171⇒2⇒電話番号(市外局番から) ⇒1⇒メッセージを聞く</p> <p>手段: スマホ、携帯、携帯ラジオなど</p>	<h4>6.家族の情報、持病と薬</h4> <p>安否確認(下に書き携帯等に登録)</p> <p>河-山田太郎、携帯メールxx@ 携帯電話またはLINE-ID 血液型AB、O+ 持病 糖尿病、高血圧 いつも飲む薬: イブール25mg毎食前</p>
<h4>7.ご近所(要支援含む)情報</h4> <p>日頃のお付き合いを大切に!</p> <p>ご近所・要支援者情報</p> <p>番地 電話 持病など</p>	<h4>8.感染症への備え</h4> <ul style="list-style-type: none"> □情報の把握(WHO、厚労省、保健所、市役所) □三密(密閉、密集、密接)を避ける □感染経路(接触、飛沫、エアロゾル、空気、経口、蚊/虫媒介)ごとに対策を □ゴーグル、パルスオキシメータを備える □咳エチケット、マスクの着用 □外出後の手洗い、口ゆすぎ後、うがい □十分な睡眠、食事、換気、加湿 	<h4>9.自宅の台風(強風)対策</h4> <ul style="list-style-type: none"> □家の周りの点検(塀、植木の補強) □風に飛ばされそうな植木鉢や材木などは家の中に戻す □固定 □倒溝や排水口は掃除して水はけを良く □窓や雨戸/シャッターを閉め、補強する □室内でカーテンやブラインドを下す
<h4>10.火山噴火への備え</h4> <ul style="list-style-type: none"> □情報の把握(政府、気象庁、市役所) □マスク、ゴーグルを備える □ヘルメットか帽子を備える □降灰前にドアや窓を閉め、目張りを □コンタクトレンズは外す 	<h4>11.家族の話し合い(年2回例3.9月)</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・左ページの生きのび方を皆で確認 ・寝室・各部屋の安全確認 ・安否確認方法(メール、ライン他) ・避難の時の集合場所 ・広域避難場所-神台(かんだい)公園等への安全な行き方(避難ルート) ・備蓄品の種類と量の確認と入替、補充 	<h4>12.自治会の役割と活動</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・震度5強以上の地震で、余震/津波/火災の3つの安全確認後、2時間以内に兵金山会館(または代替場所)に浜四災害対策本部(災対本)を設置し、活動を開始します ・自治会-防災会役員は自身、家族の
<h4>12.自治会の役割と活動</h4> <ul style="list-style-type: none"> 安全確保後、浜四災対本へ自動参集 ・組長は自身、家族の安全確保後ご近所の救助/救護、消火を。 その後、自組の安否確認/会館報告。余裕があれば浜四災対本へ参加 ・自治会-防災会役員は自身、家族の 	<ul style="list-style-type: none"> ご近所の救助/救護、消火を。 余裕があれば浜四災対本へ参加 ・感染症、火山(、台風)など危険情報、重要情報確認後、同様に兵金山会館に浜四災害対策本部を設置し、活動します 	<ul style="list-style-type: none"> ご近所の救助/救護、消火を。 余裕があれば浜四災対本へ参加 ・感染症、火山(、台風)など危険情報、重要情報確認後、同様に兵金山会館に浜四災害対策本部を設置し、活動します

みんなで生きのびよう(第4.0版)

みんなで生きのびよう(第4.0版)




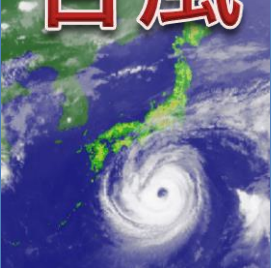


茅ヶ崎市防災緊急情報	気象庁地震情報	気象庁津波情報	気象庁台風情報	気象庁火山噴火情報	厚労省感染症情報

日本の災害・脅威





自然災害

地震 **津波** **水害** **台風**



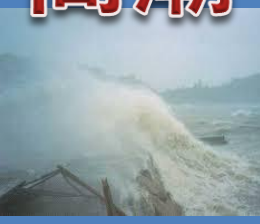






緊急地震速報
来る前に知る

火災 **土砂災害** **火山噴火** **液状化**

竜巻 **雪害** **高潮** **小惑星衝突**

非自然災害

感染症 **テロ**




北朝鮮 **原発**




ミサイル **放射能災害**




サイバー **爆発事故**




テロ **交通事故**




浜竹四丁目で可能性のある災害・脅威

自然災害

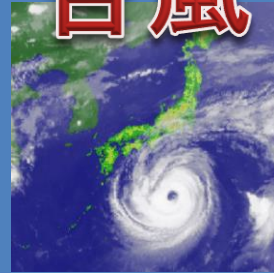
地震



津波



台風



火災



火山噴火 液状化



竜巻



非自然災害

感染症



北朝鮮

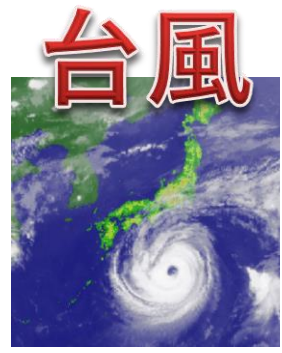
ミサイル



交通事故

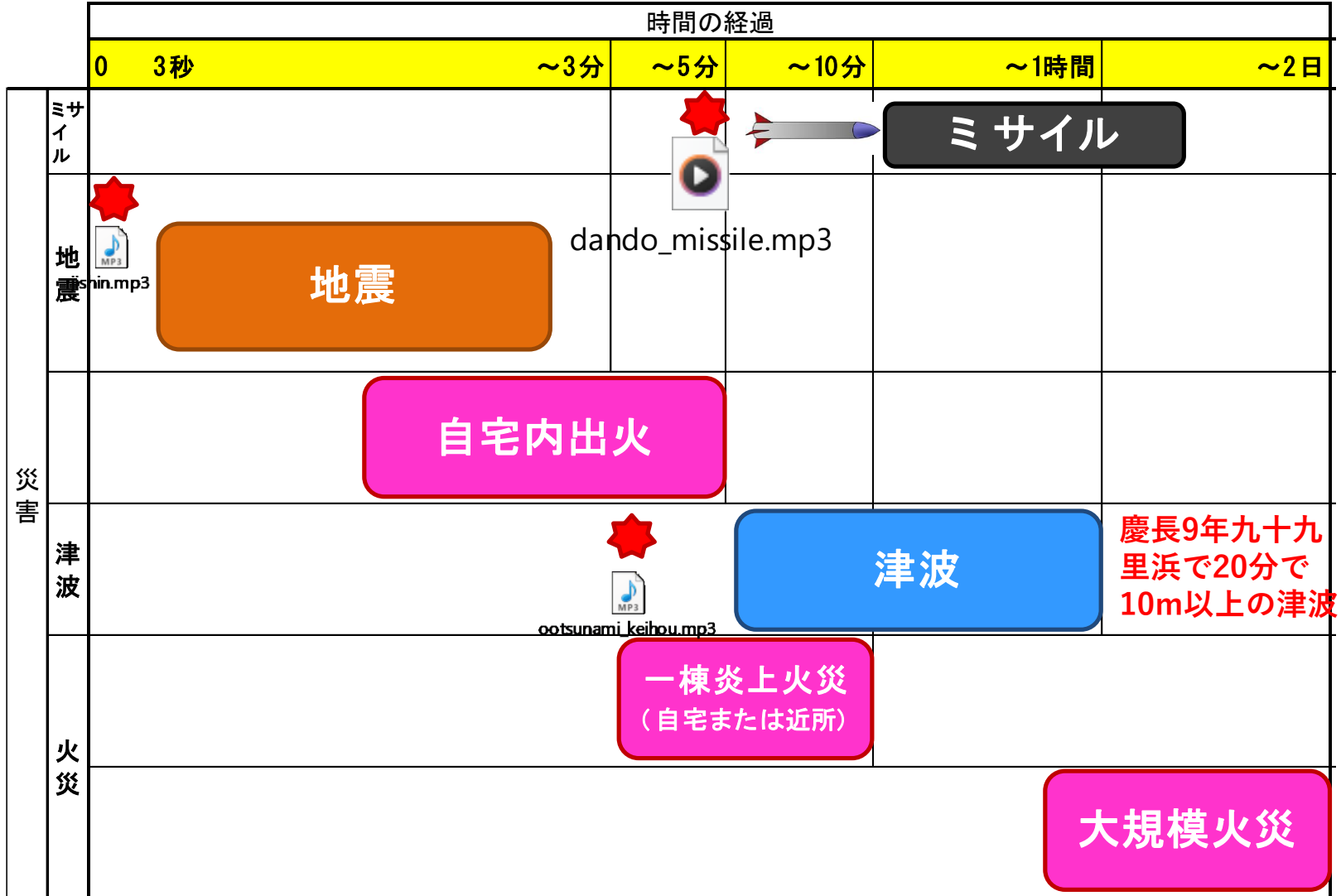


浜竹四丁目の災害・脅威をさらに絞れば



浜竹地区の災害を時間軸で見ると

浜四の災害(大地震等とその後の災害)-直後の行動のしかたと日頃の備え



①地震、(津波、)火災への対策は

命とわが家を守る4つの事前の備え

備え-その1 : **自宅の耐震補強**～昭和56(1981)年6月以前の家は危ない!!!

備え-その2 : **家具、器具の固定とレイアウト変更**

備え-その3 : **電気(通電)火災の予防**～自分の家から**火**を出さない!!!
感震ブレーカー

備え-その4 : 食糧・水・トイレ用品は**家庭で備蓄**～在宅避難用、**7日以上!!**

①地震への対策は

命とわが家を守る4つの事前の備え

備え-その1：**自宅の耐震補強**～昭和56(1981)年6月以前の家は要注意!!!

阪神淡路大震災

死者:6,400人

86%

直接死:5,500人

73%

窒息・圧死:4,000人

98%

15分で死亡:3,900人



市建築指導課で無料耐震相談を実施しています。
耐震補強の補助金(最大70万円)もあります。



②津波への対策は

津波は予防ができない
が**警報**が出る

- 事前準備は津波避難タワーの建設など

分類	予想される津波の高さ	
	高さの区分	発表する値
大津波警報	10m～	10m超
	5m～10m	10m
	3m～5m	5m
津波警報	1m～3m	3m
津波注意報	0.2m～1m	1m

- **大津波警報が出たら避難**

大津波警報が出れば避難は一刻を争う。

- 歩ける方は、家族、ご近所と一緒に駅・テラスモール方面へ避難する。
- 途中高い建物等に登れば登る
- 歩けない方は自宅二階または近くの高所に避難<垂直避難>

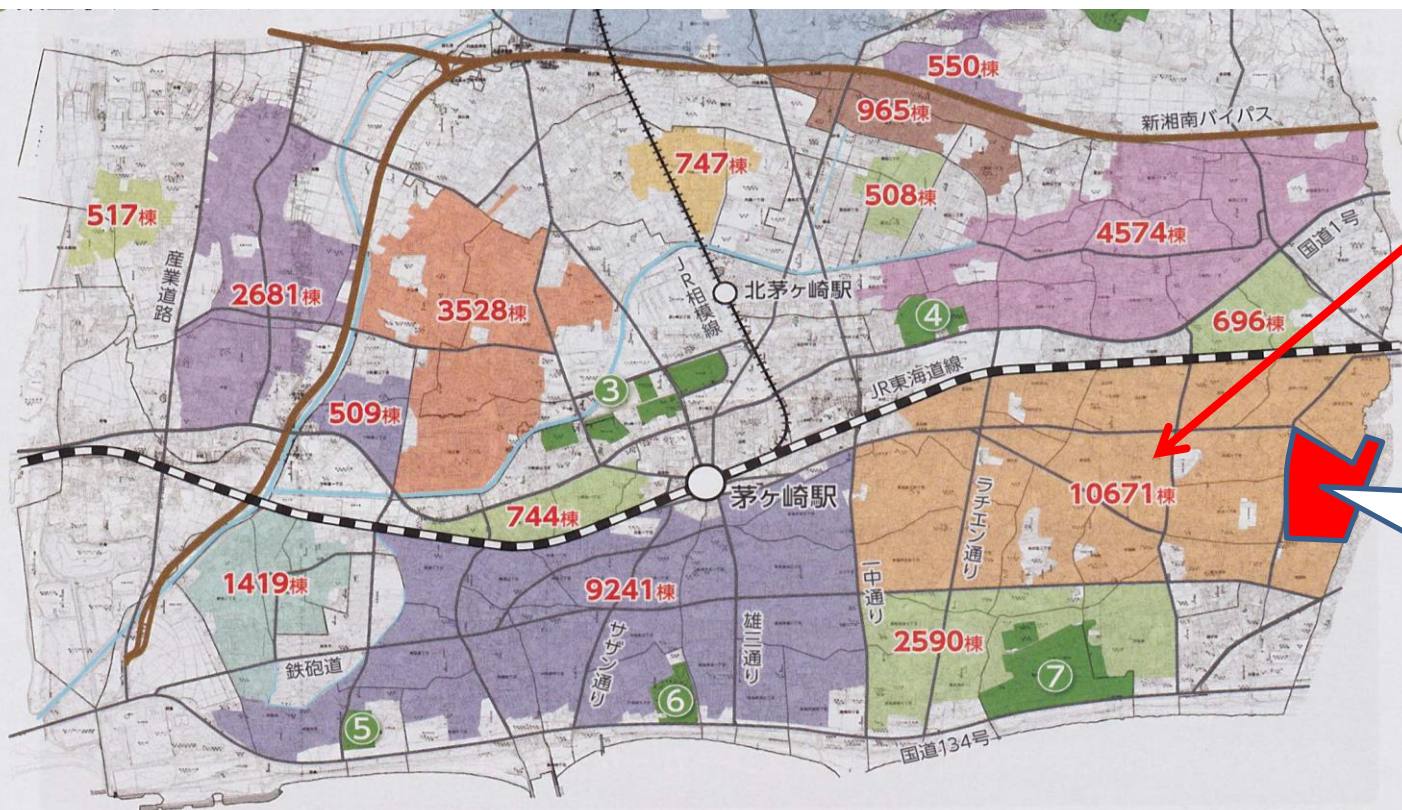
③火災への対策は

茅ヶ崎市松浪地区は県下No. 1の大火災クラスター

具体的な目標と対策が必要

京急茅ヶ崎自動車学校
⑤ 県立茅ヶ崎西浜高等学校

茅ヶ崎市火災クラスター(延焼・類焼運命共同体)



No	クラスター内 焼失棟数
1	10,671
2	9,241
3	4,820
4	4,574
5	1,419
6	9,241
7	2,590

**浜四は
茅ヶ崎一＝
県下一のク
ラスタの中**

※風向：北北東 風速6mの気象条件で測定した結果です。気象条件によっては、クラスターの範囲も異なります。

出典：『地震による地域危険度調査測定調査 平成25年度 検証結果』クラスター分布図改編

浜四 住民が逃げられる 広域避難場所

大規模な延焼火災に備え

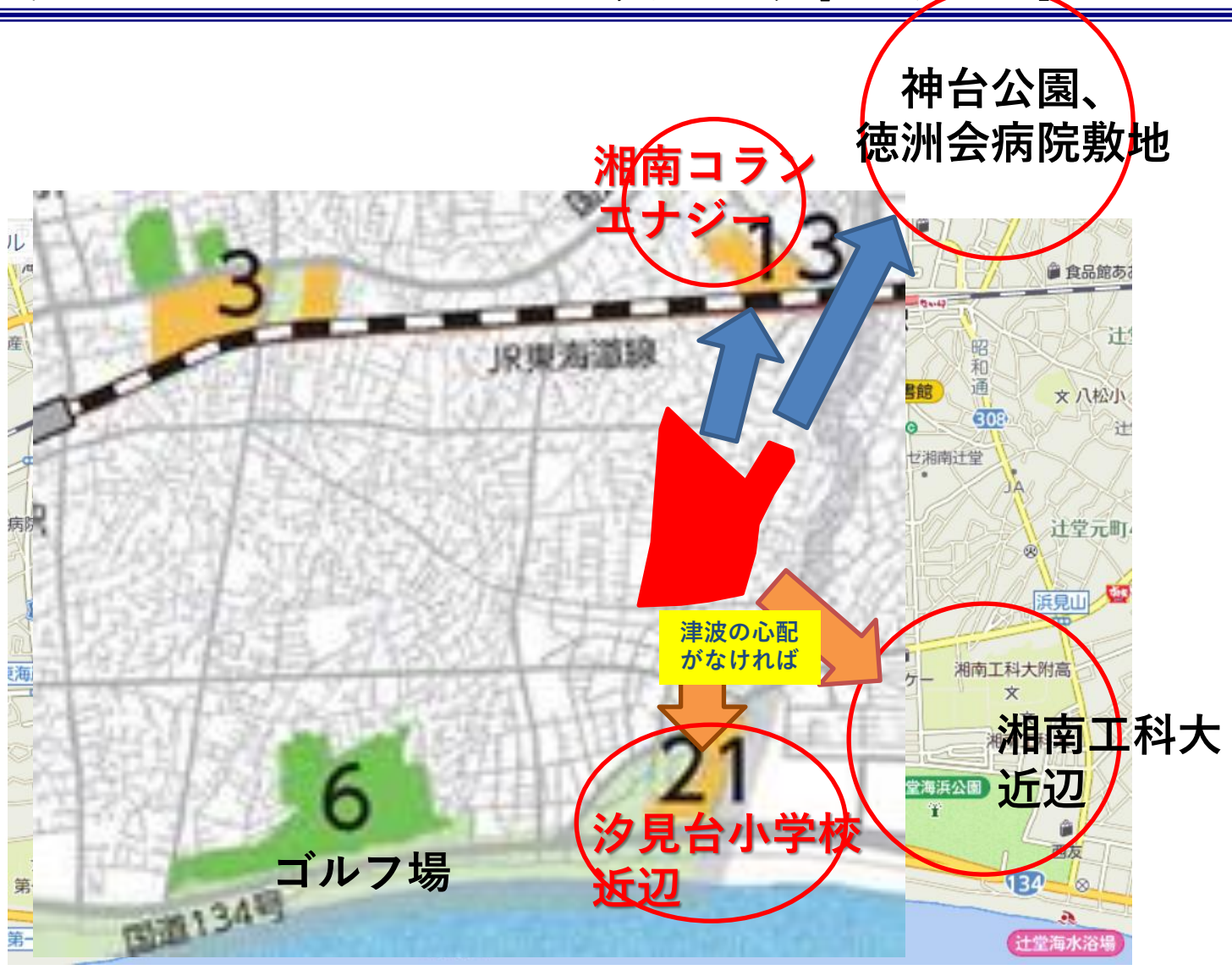
1	中央公園、市役所、市民文化会館、総合体育館、電源開発、市体育館、梅田小学校、梅田中学校
2	茅ヶ崎公園
3	茅ヶ崎高校、京急茅ヶ崎自動車学校、TOTO茅ヶ崎工場、真如苑湘南支部
4	湘南カントリークラブゴルフ場
5	スリーハンドレッドクラブゴルフ場
6	茅ヶ崎ゴルフ倶楽部、浜須賀小学校
7	茅ヶ崎西浜高校、太陽の郷、西浜中学校
8	茅ヶ崎里山公園
9	茅ヶ崎北陵高校(旧校舎敷地)
10	鶴が台小学校、鶴が台中学校、鶴が台保育園、鶴が台団地
11	円蔵小学校、円蔵中学校、円蔵スポーツ広場、鶴嶺高校
12	赤羽根中学校
13	湘南コランエナジー
14	田端スポーツ公園
15	茅ヶ崎養護学校
16	浜之郷小学校
17	平塚総合グラウンド、平和学園グラウンド
18	衛生研究所
19	中島中学校
20	柳島スポーツ公園
21	汐見台小学校、湘南汐見台公園、松下政経塾

※ 避難場所は敷地内の屋外のスペースです

標識を分かりやすく

2018年度中にJIS規格に適合した標識を設置します。

例)



避難場所と避難所の違い

避難生活所
が正しい?!

避難場所と避難所の違い

避難場所

緊急的に避難

災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、その危険から命を守るために緊急的に避難する場所

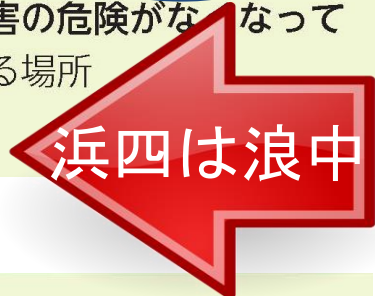
例) 広域避難場所(火災)、津波一時退避場所

避難所

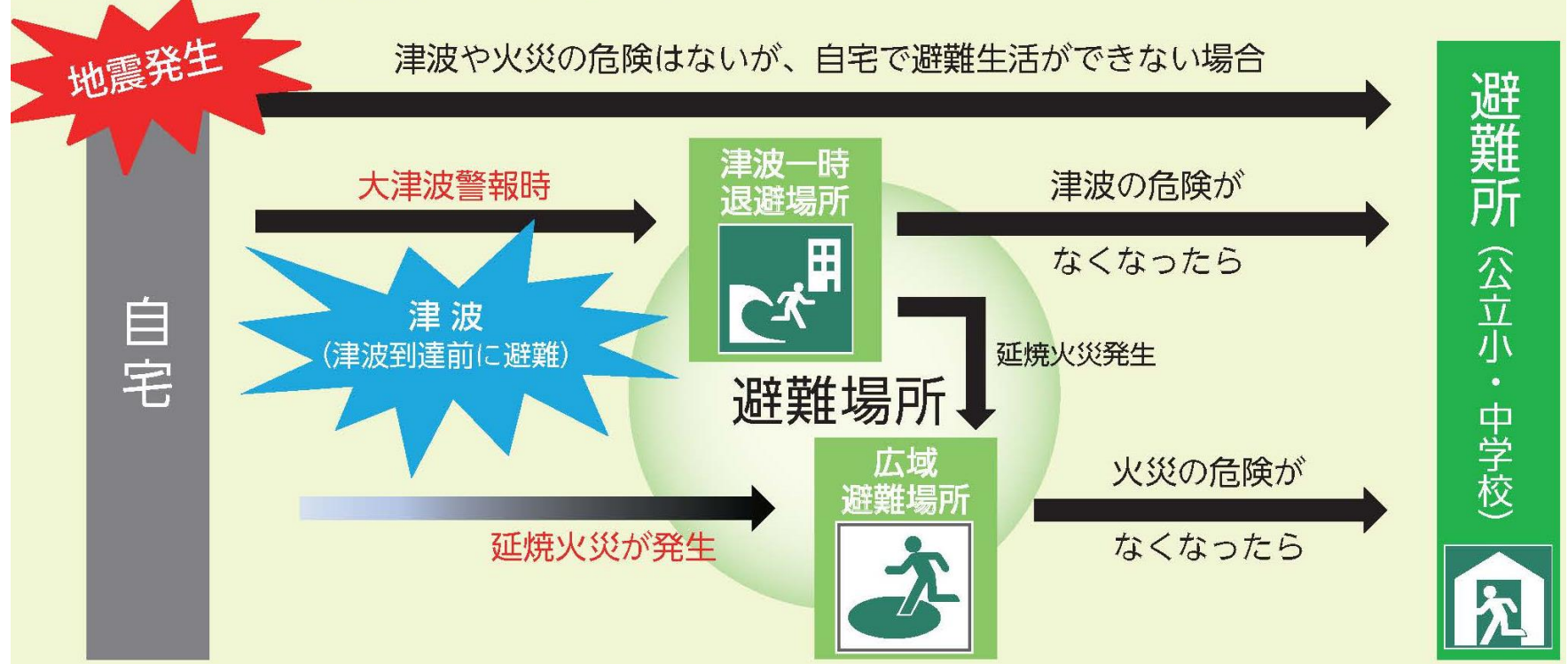
避難生活の場

自宅等が被災した住民などが、災害の危険がなくなったから一定期間滞在し、避難生活を送る場所

例) 公立小・中学校(32校)



地震時の避難・行動フローチャート



大規模火災への対策は

備え：電気火災の予防～地震火災の主な原因は電気-**通電火災!!!**

電気火災を防ぐには、避難する前にブレーカーを落とすことが重要。**避難時の落とし忘れを防ぐ**ために地震で落ちる**感震ブレーカー**を設置しましょう。

感震ブレーカー



震度5強(または6弱)以上の揺れで働き、ブレーカーが遮断されます(避難の際のブレーカー落とし忘れ対策)。簡易装置は市の補助金もあり、少ない**自己負担**で簡単につけられます。設置ご希望の方は今回、**申し込みを**。

震災での火災発生後の対策は、消防車がまず来ないので、移動式ホースでの消火活動が重要。延焼防止位です。まず**自分の家から火災を出さない**よう、

備蓄はどの程度必要か

備え-その4：食糧・水・トイレ用品は**家庭で備蓄**～在宅避難用、7日分以上!!

避難所は、プライバシーのない共同生活となりますが、自宅が安全で、かつ**食糧、水、(災害時用)トイレ用品**を備蓄していれば自宅で避難生活を送ることが出来ます。

⇒ **自宅避難**

お米、乾麺、スパゲティなど主食は大体2週間分はあると思われます。おかずの缶詰、レトルト食品も備蓄しておきましょう。

医薬品も手に入りにくいので、**いつも飲む薬は2週間分**くらい余分に持っていました。

食糧も薬も**ローリング・ストック**といって、毎日備蓄も入れて古いものから使って、新しいのを買っていきましょ。



	水道	ガス	電気
震度6弱	7日	15日	1日
震度6強	15日	30日	2日
震度7	30日	45日	4日



水もガスも長く止まります!



備蓄はどの程度必要か_続き

備え-その4：食糧・水・トイレ用品は**家庭で備蓄**～在宅避難用、**7日分以上!!**

煮沸消毒、煮炊きのためにカセット・コンロを!!!
カセット・ボンベも余裕を持って!!!



ポリ袋、レジ袋は災害時には何かと役に立ちます。
50枚くらいは買い置きしておきましょう。



【お風呂の湯も貯め置きすれば生活用水に使えます】
180リットルくらいあるので、トイレ用、手洗い用など10日くらい使えます。



①地震・火災への対策は

命とわが家を守る4つの事前の備え

備え-その1 : **自宅の耐震補強**～昭和56(1981)年6月以前の家は危ない!!!

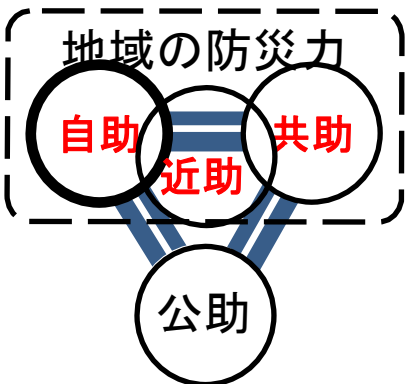
備え-その2 : **家具、器具の固定とレイアウト変更**

備え-その3 : **電気(通電)火災の予防**～自分の家から火を出さない!!!
感震ブレーカー

備え-その4 : 食糧・水・トイレ用品は**家庭で備蓄**～在宅避難用、**7日以上!!**

備え + α : 地震に関係する火災は火災保険の対象外です。**地震保険の加入**も検討を!!!

自治会、自主防災会の活動の基本的考え方



自治会、自主防災会はあくまでも任意団体でボランティアの集まりです。自分の住む町を**快適**にしたい、**安全**にしたい、**困った人を助けたい**という気持ちが基本です。決して行政の下部組織、下請けではありません。

住民に対して責任や義務を負っているものは一つもない。
NRO : **No Risk Organization** です。

災害発生時は

自分の身を守り、生き延びる(**自助**)

家族や大切な方の身を守り、安全を確認する

ご近所や近隣の方を助ける(**近助**)
浜竹四丁目の皆さんを助ける(**共助**)
茅ヶ崎市の皆さんを助ける(**公助**)

組長さんをお願いすること (基本的考え方に則った上で)

- ① 組長札の掲示
- ② 回覧物の組内回覧と個別配布
- ③ 年2回の自治会費や募金の集金
- ④ 年3回予定の組長会議への出席
- ⑤ ご自分の**組内の会員情報**の可能な限りの収集・把握
- ⑥ 自治会の自主防災活動への協力(組長の防災担当)

- 非常(災害発生)時の組内の**安否確認**と報告
- 非常時の町内での災害対策本部活動協力
- 浪中-避難所の運営への協力

災害発生時の行動と役割-1

生きのび方の基本の考え方

自分が生きのびる

家族も生きのびる

ご近所も生きのびる

みんなで生きのびる

① 地震警報

_グラっときたら

② 大津波警報

_ただちに避難！

③ 大規模火災

_慎重にみんなで避難！

余震・津波・火災の3つの安全確認後

自宅が**安全!**

自宅が**危険?**



原則

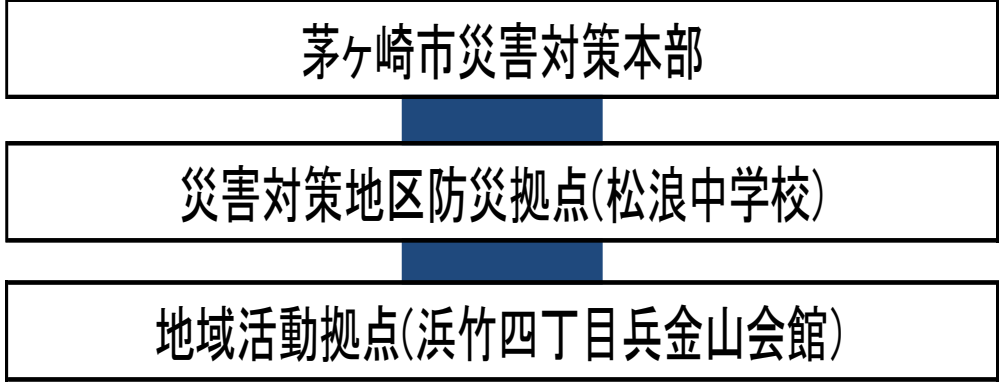


松浪中学校 避難所

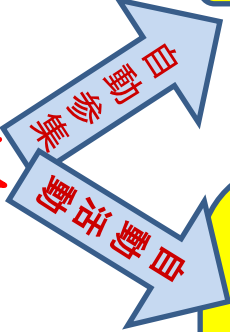
(不在も含む) 家族の安否確認、ご近所の救出・救助・救護、消火活動、情報収集

兵金山会館(または代替場所)に浜四災害対策本部を設置

災害発生時の行動と役割-2



兵金山会館(または代替場所)に浜四災害対策本部を設置(2時間以内)



- 浜四組長の方は**
- まず組長さん自身が生きのびる
 - 家族の無事・安全を確認
 - 地震二次被害、津波、火災から安全を確認
 - **ご自分の組内の安否確認と組内安否確認表記入**
 - **兵金山会館の災害対策本部に報告**
 - 家族・家庭に問題がなければ**災害対策本部活動に参加**

災害発生時の行動と役割-3

兵金山会館(または代替場所)に浜四災害対策本部を設置

災害対策本部長

浜四災害対策本部
(自主防災会&自治会役員)

管理・情報班	食糧物資班	財務班	消火班	救出救護班	防犯班	避難所運営班
--------	-------	-----	-----	-------	-----	--------

浜四自治会役員(この担当は案であり、決定ではありません)

書記 広報 監事	文化部	会計	環境部	体育部	防犯	福祉厚生 みつばち文庫
----------------	-----	----	-----	-----	----	----------------

浜四自治会組長

総務 情報	給食		消火	救出 救護	防犯	避難
----------	----	--	----	----------	----	----

災害発生時の行動と役割-4

各担当の活動内容は主に次のような役割です

平時（平常時）と非常時（災害発生時）

	平時	非常時
 総務担当	○防災訓練時各担当の活動が組織として活動しているか把握 ○名簿の作成・要支援者等の把握	○本部との連携・各担当の活動の把握 ○問題・対策状況の書き出し、管理 ○非常時は情報担当と連携し、名簿に従い住民の安否確認
 情報収集担当	○住民への連絡体制、手段の検討 ○情報収集・伝達訓練の実施 ○防災意識の啓発に関する広報 ○公的防災機関との連携確保	○災害情報を住民に対して正確かつ迅速に伝達 ○被害情報を収集し、本部へ報告 ○混乱回避、出火防止等の広報
 消火担当	○家庭の消火器設置推奨、街頭消火器の確認、点検、移動式ホース点検 ○初期消火訓練の実施	○火災発生情報の把握と避難か消火かの判断と住民の誘導 ○初期消火活動（移動式ホースは2人）
 救出救護担当	○応急手当、衛生知識の普及 ○救命講習への参加 ○個人常備薬、医薬品の備蓄の啓発 ○備蓄医薬品、救助機材の確保、点検 ○技能、ノウハウを持った住民の把握 ○救助用資機材の点検・確保 ○事前に避難路、避難場所を把握	○避難誘導担当と連携しての速やかな救出、救助 ※救出活動は危険を伴う場合があるため、二次災害に十分注意 ○負傷者の搬送、応急手当の救護 ○避難所・救護所での救護活動への協力
 避難誘導担当	○避難誘導訓練の実施 ○避難路の安全点検 ※危険箇所（ブロック塀、落下の恐れのあるもの）などの確認等 ○避難行動要支援者の把握	○情報収集担当と連携、避難呼びかけ ○安全な経路を選択しての避難誘導 ○避難行動要支援者の避難確認 ○避難地での安否確認 ○安否確認による救出救護担当への情報伝達
 給食給水担当	○食料、飲料水、トイレ用品の個人備蓄についての普及啓発 ○物資保管・運搬と手段の点検 ○炊き出し訓練の実施 ○炊き出し用資機材の確保、点検	○食料や水、救援物資等の受入、配布 ○必要に応じて炊き出し ○避難所（松浪中学校）での避難所運営活動への協力
 防犯警戒担当		○非常時に多発する盗難などへの防犯・警戒活動 ○安全になるまでの期間継続 ○要員は適宜シフトし、体制強化する

回覧

平成30年度 浜竹四丁目自治会 組長名簿

部・組	組長名	防災担当	備考	部・組	組長名	防災担当	備考
1-1	吉井 裕紀	消火	✓	2-1	松田 一二	救出	
1-2	小倉 久子	給食	✓	2-2	上垣 浩次	避難	
1-3	大江 尚	情報	✓	2-3	富川 民江	消火	
1-4	遠藤 直子	救護	✓	2-4	齋藤 隆子	給食	
1-5	末松 一豊	総務	✓	2-5	大野 隆	情報	
1-6	鈴木 秀一	救出	✓	2-6	井上 勢津	救護	
1-7	加藤 敦子	避難	✓	2-7	木村 すみ子	総務	
1-8	成島 早夜子	消火		2-8	池田 勝紀	救出	
1-8B	アメニティー湘南			2-9	永井 弘一	避難	
1-9	—			2-10	内山 静江	消火	
1-10	網中 紀枝	給食		2-11	遠藤 華子	給食	
1-11	三浦 誠治	情報		2-12	中尾 武男	情報	
1-12	佐藤 一美	救護		2-13	宮川 純一	救護	
1-12B	アスール湘南						
1-13A	中村 登	総務		3-1	日塔 恵理子	総務	
1-13B	馬場 正博	救出		3-2	藤井 隆	救出	
1-14	堀根 恵美子	避難		3-3	齋藤 祐治	避難	

平時は

消火、給食、情報、救護、総務、救出、避難の担当として意識していただき、訓練、講習会に参加。

非常時は

会館の災害対策本部に集まっていたいただき、集まった人の中で、下図担当分けを行い活動。

兵金山会館(または代替場所)に浜四災害対策本部を設置

